

メキシコだより 11月号

川田 佑樹

気が付けばもうメキシコに来て4か月弱が経とうとしており、学校生活、私生活にも慣れてきたところです。時間は無駄にしないでいろいろなことに果敢に取り組み実りのある留学にしたいと考えております。今月はメキシコにおいてトップレベルの盛り上がりをする死者の日と日帰りで行ったパチューカ、日常生活についてレポートしたいと思います。

死者の日

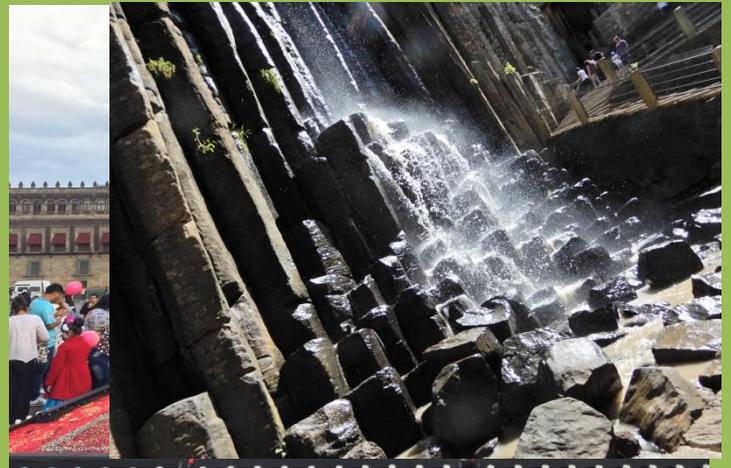
皆さんは今年の上半期に話題を集めた「リメンバー・ミー」という映画を見ましたか？この映画はメキシコの死者の日と呼ばれる祝日を題材にして作られているのですが、一体、死者の日というものはどういうものなのか見てみましょう！



死者の日とはメキシコでは11月1日と2日にある祝日のことで、日本でのお盆に近い感覚の行事です。ただ日本と異なるのはこのお祭りはカラフルに派手に盛大に祝われるのが特徴です。また、オフレンダと呼ばれる祭壇が豪華に飾られます。近くにはマリーゴールド

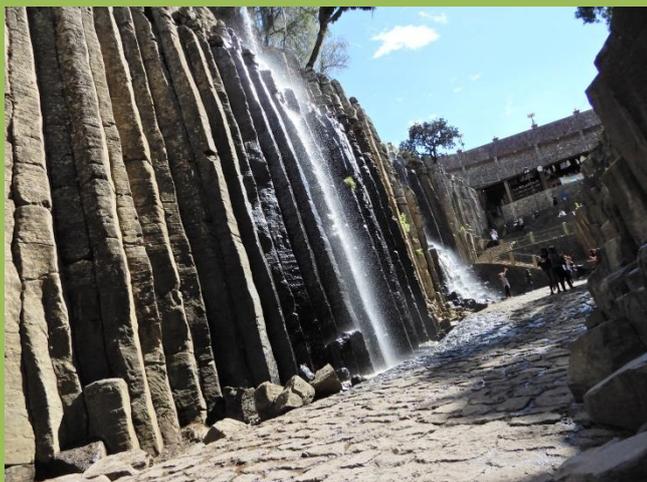
の花が敷き詰められ、中央のてっぺんには写真が供えられます。さらに、ソカロ（中央広場）には非常に大きなオフレンダや死者の日仕様のモニュメントが飾られます。また、顔に本格的な骸骨のペイントをする機会があったので私もやってみました。半分くらいの現地の方々はペイントしてました(骸骨のペイントをした女性はカトリーナと呼ばれます。)

実際に見てみると話で聞いていたよりも壮大で規模が大きな祭りでもとても興味深かったので、もし機会があったら訪れてください。



最近の土日

ここ最近は冒頭で話したように生活にも慣れてきたので、土日は少しだけ出かけるようになりました。その一環で先日はイダルゴ州へ日帰りで行きました。イダルゴ州の州都であるパチューカは以前、サッカー日本代表で活躍をしていた本田圭佑選手



手がいた地として日本では有名ですが、それだけではなくイダルゴ州にはプリスマスバサルティコスと呼ばれるとても広い自然保護区があります。ここには大きな滝もあり、中心街から車で約 1 時間程度のところ

ろに位置しているにもかかわらず観光客でにぎわっておりました。

さらに11月の最終週には私の通っているメキシコ国立自治大学の所有しているプロサッカーチームの試合を見に行きました。私はサッカーの試合を日本にいる間にほぼ毎週見に行ってましたが海外でサッカーを見るのは初めてだったので驚くことがたくさんありました。例えば点が決まった途端、二階からビールの紙コップが降ってきたりと日本ではなかなか経験できないことが経験出来てとても楽しかったです。

